

地中から電線を発掘！

五所川原事業所 技術サービスグループ 松川 春次

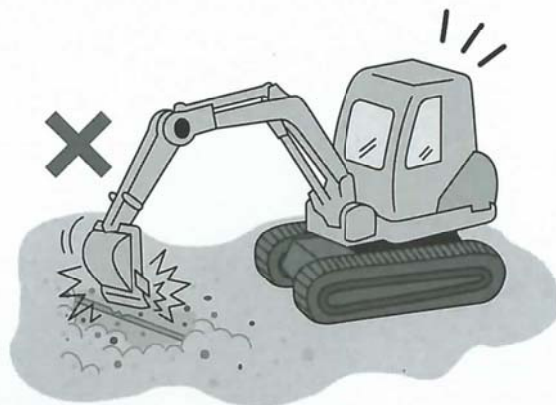
昨年末、食品販売業のお客さまから「地中に埋まっていた電線を掘り起こしてしま
った」と電話がありました。停電しているかを確認したら「停電はしていない」との
ことでしたので、電線には絶対に触らないようお願いして、急いで現場に向かいました。

現場に到着してみると、地中約1.5メートルのところに埋まっていた低圧の電線が
切れることなく掘り起こされ顔を出していました。お客さまにお話を伺うと、構内で
下水道の配管工事を行っており、重機を使って掘削作業をしていたとのことでした。
掘り起こされた電線を良く見ると、キュービクルから構内引込柱までの地中に埋設し
ている地絡継電器（※）の電源用低圧ケーブルでした。幸いにも感電や高圧停電事故
には至らなく、ほっと胸をなでおろしました。

あらためて現場周辺を見渡すと、この掘り起こしてしまった電線のすぐ近くには
6,600Vの高圧ケーブルも埋設されておりました。掘り起こした場所が少しずれていれ
ば、この高圧ケーブルが掘り起こされ、感電死傷等の重大事故になったのではと思う
と、ぞっとしました。その後、掘り起こされたケーブルの外観を点検したところ損傷
は無く、絶縁抵抗測定でも異常が認められませんでしたので、再度、埋め直してもら
い事故対応は終了しました。

下水道工事を行った工事業者の方は、「構内の図面を借りて、電線等が埋設されて
いない事を確認したうえで作業した」とのことでしたが、実際は低圧のケーブルが埋
設されていました。

今回のように事前に図面等で確認し
ていても、実際は違っている場合もあ
ります。構内で建築工事および掘削工
事を行う際は、事故を未然に防ぐ観点
からもぜひ事前に私ども東北電気保安
協会までご連絡いただきますようお願い
いたします。



※地絡継電器：高圧回路の漏電等を検出し、高圧気中開閉器を開放
させる装置。波及事故防止のためには重要な装置。